

# 助詞一覽 (1)

※ ★は現代日本語では一般に用いられない意味・用法を示す。

## I 格助詞

語	主な意味・用法	訳	備考	接続
が	主格	…が		
	★ 連体修飾格	…の	*例:「我が心なぐさめかねつ更級や姨捨山に照る月を見て」(古今集)	
	★ 準体言	…のもの、…のこと	*例:「この歌…柿本人麻呂がなり」(古今集)	
の	連体修飾格	…の		体言・連体形・ 形容詞や形容 動詞の語幹
	主格	…が		
	★ 同格	…で	*例:「白き鳥の嘴と脚と赤き」(伊勢物語)	
	★ 比喩	…のように	*例:「日暮るるほど、例の集まりぬ」(竹取物語)	
	並列	…とか		
	準体言	…のもの、…のこと		
に	場所	…に、…で		体言・連体形
	時	…に、…時に		
	到達点	…に		
	方向	…に、…の方へ		連用形
	対象	…に、…に対して		
	変化の結果	…に		体言・連体形
	目的	…に、…ために		
	原因・理由	…によって		
	受身の動作主	…に、…によって		
	使役の対象	…に		
	★ 資格	…で、…として	*例:「その男、伊勢の国に狩の使に行きけるに」(伊勢物語)	
	★ 手段・方法	…で	*例:「言の心を、男文字に様を書き出して」(土佐日記)	
	状態	…に、…の状態で		
	★ 敬意	…におかれて	*例:「内裏に聞こしめされて、急ぎ一寸法師をぞ召されけり」(一寸法師)	
	強意	…に	*「強意」の用法では、同じ動詞の間に置いて意味を強める。	連用形
比較の基準	…より		体言・連体形	
動作の拠り所	…に			
を	対象	…を		体言・連体形
	起点	…を、…から		
	経過点	…を、…を通して		
へ	方向	…へ、…の方へ		体言・連体形
	到達点	…に		
	対象	…に、…に対して		
と	動作の共同	…と、…とともに		体言・連体形
	対象	…と		
	並列	…と		
	比較の基準	…と		
	引用	…と、…と言って、…とあって	*「引用」の用法では、種々の語に接続する。	
	変化の結果	…と		
	★ 比喩	…のように	*例:「笛の音のただ秋風と聞こゆるに」(更級日記)	
とて	★ 引用	…と言って、…とあって	*例:「げにもおもしろき者なり」とて、御笑ひなされけり。(一寸法師)	種々の語
	★ 原因・理由	…というので	*例:「春ごとに咲くとて、桜をよろしう思ふ人やはある」(枕草子)	
	★ 目的	…という目的で	*例:「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり」(土佐日記)	

ご語	おも い み ようほう 主な意味・用法	やく 訳	びこう 備考	せつぞく 接続
より	じかんでききてん くわんでききてん 時間的起点・空間的起点	…から		たいげん れんたいけい 体言・連体形
	けいかてん ★ 経過点	…を、…を通して	れい まへ みづ はつせがは げんじものがたり *例:「前よりゆく水を初瀬河といふなりけり」(源氏物語)	
	しゅだん ほうほう ★ 手段・方法	…で、…によって	れい ひとり まう つれづれでき *例:「ただ一人、かちより詣でけり」(徒然草)	
	そくじ ★ 即時	…やいなや、…とすぐに	れい かどひ い げんじものがたり *例:「門引き入るより、けはひあはれなり」(源氏物語)	
	ひかく きじゆん 比較の基準	…より		
	げんてい 限定	…以外		
げんいん りゆう 原因・理由	…のために、…によって			
から	じかんでききてん くわんでききてん 時間的起点・空間的起点	…から		たいげん れんたいけい 体言・連体形
	けいかてん ★ 経過点	…を、…を通して	れい つくよ いも あ ただち き よ まん *例:「月夜よみ妹に逢はむと直道からわれは来つれど夜ぞふけにける」(万葉集)	
	しゅだん ほうほう ★ 手段・方法	…で、…によって	れい かし まか い なぐさ はべ おちくほものがたり *例:「徒から罷りて言ひ慰め侍らむ」(落窪物語)	
	げんいん りゆう 原因・理由	…のために、…によって		
にて	ばしょ 場所	…で、…において		たいげん れんたいけい 体言・連体形
	とき ねんれい ★ 時・年齢	…で、…において	れい じふに ごげんぶく たま げんじものがたり *例:「十二にて御元服し給ふ」(源氏物語)	
	じょうたい ★ 状態	…で、…の状態	れい ね じょうたい い く ま うじしゅういものがたり *例:「寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに」(宇治拾遺物語)	
	しかく ★ 資格	…で、…として	れい はは ちげんのかみ め くだ げんじものがたり *例:「母は筑前守の妻にて下りにければ」(源氏物語)	
	しゅだん ほうほう ざいりょう ★ 手段・方法・材料	…で	れい ふね わた さがみ くに きらしなにつま *例:「舟にて渡りぬれば、相模の国になりぬ」(更級日記)	
	げんいん りゆう ★ 原因・理由	…のために、…によって	れい たけ なか し たけとりものがたり *例:「竹の中におはするにて知りぬ」(竹取物語)	
して	しえき たいしょう ★ 使役の対象	…に、…に命じて	れい おんつか まう たま げんじものがたり *例:「御使ひして申させ給ふ」(源氏物語)	たいげん れんたいけい 体言・連体形
	しゅだん ほうほう ★ 手段・方法	…で	れい いは および ち か つ いせものがたり *例:「岩に指の血して書き付けける」(伊勢物語)	
	どうさしゆ にんずう ★ 動作主の人数	…で	れい とも ひと ひとりふたり い いせものがたり *例:「友とする人一人二人して行きけり」(伊勢物語)	